

概要	○ 令和4年12月29日（木）、広島県世羅町に所在する養鶏場（約29万羽）において鳥インフルエンザの疑いが発生し、12月30日（金）1600、検査の結果、鳥インフルエンザ陽性が確定 ○ 30日（金）1600、陸上自衛隊第13旅団長（海田市駐屯地・広島県安芸郡）は、広島県知事から鶏の殺処分等の支援に係る災害派遣要請を受理 ○ 30日（金）1600より、陸上自衛隊第46普通科連隊（海田市駐屯地・広島県安芸郡）が殺処分等に係る支援を24時間態勢で実施 ○ 令和5年1月2日（月）1640、自衛隊実施分について完了し、じ後の防疫措置は自治体のみで可能となったことから、陸上自衛隊第13旅団長は広島県知事から災害派遣撤収要請を受け、活動を終了
活動部隊	○ 陸上自衛隊 第46普通科連隊（海田市）
活動態勢	○ 約180名態勢（24時間態勢で、約29万羽のうち、自衛隊が約12万羽、自治体は約17万羽を担当）
活動内容	○ 鳥インフルエンザが発生した養鶏場における殺処分支援等

位置関係図

陸上自衛隊
第46普通科連隊
(海田市駐屯地)

発生農場
(広島県世羅町)

約50km

活動状況

殺処分等の支援

殺処分等の支援